

JA 自己改革の取り組み状況

JAグループでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、相互扶助の理念に基づき、消費者の皆さんへ安全・安心な国産農畜産物をお届けし、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を実現するため、様々な自己改革に挑戦しています。

ここでは、今年度10月までに当JAが実践してきた自己改革の取り組みを、抜粋してご報告させていただきます。

これからも、農業のさらなる成長を盛り上げていくため、一層スピードアップをして改革を進めてまいります！

① 農家組合員の所得増大・農業生産の拡大



農作業
受託支援と
生産コスト低減



中心となる
担い手の
育成・支援

常勤役員が担い手との接点活動の強化を図っており、TAC専門員とともに担い手農家へ訪問。5月と8月に訪問させていただき、次回は12月を予定しています。



複合経営による園芸作物の作付け提案・農業融資の実行など、個別の提案活動を行っています。

累計個別提案取り組み件数

30年度目標	上半期実績
50件/年	50件

訪問活動件数

30年度目標	上半期実績
2,200件/年	1,191件

新規就農者

30年度目標	上半期実績
5名	2名(相談4名)

平成30年度からドローンを導入し、大規模農家や、急斜地のため危険な作業も多い中山間地域で、水稲・麦・大豆の病害虫予防や除草剤の散布を行っています。品質向上と収量増加、そして生産者の作業の省力化・苦勞の軽減につなげていきたいと思ひます。

地域にあった 需要作物の 生産拡大



消費が多い野菜5品目(キャベツ、玉ねぎ、じゃがいも、人参、ブロッコリー)を園芸戦略品目と位置づけ、生産振興を図っています。

「大津の子どもたちに大津の野菜を!!」を合言葉に、安全・安心な地場野菜を食べてもらえるよう、おもに大津市の学校給食やグリーンファーム石山店・堅田店へ出荷しています。

平成30年度作付け面積

- キャベツ ……………219a
- 玉ねぎ ……………139a
(11月作付予定)
- じゃがいも ……………1a
- 人参 ……………2a
- ブロッコリー ……………20a

合計3.81ha

湖都シリーズ第4弾となる、はなふじコシヒカリを原料とした「湖都アイス」を7月に発売し、グリーンファーム限定で販売しています。現在、はなふじコシヒカリを原料とした「湖都ゴーフレット」を商品化に向けて検討中。

栽培面積の拡大を図るとともに、作業の機械化による省力栽培と初期投資のコスト削減のため、定植機や掘起機などの導入に続き、新たに「玉ねぎピッカー」を導入しました。作業のさらなる効率化を目指します。



直売所出荷会員の拡大と育成

30年度目標	上半期実績
新規会員50名増員	累計67名増員

複合経営による園芸戦略品目の生産振興

30年度目標	上半期実績
園芸栽培面積 5ha	3.81ha (予定作付含む)

学校給食の地場産野菜生産・提供

30年度目標	上半期実績
耕作面積 4ha	研修会で提案

玉ねぎを学校給食へ納品
7月約4,000kg 9月2,151kg

湖都シリーズブランドづくり

30年度目標	上半期実績
5品目	合計4品目

受講者の野菜栽培の技術向上のほか販売技能を習得してもらうことでグリーンファーム出荷者の育成を目指し、農業塾を開いています。年6回のカリキュラムを組み、現地圃場での実技を交えて講義を行っています。



直売所を
核とした
地産地消の
取り組み

② 総合事業による地域の活性化とくらしの支援

農家組合員や地域に向けての情報提供

農家組合員向けには広報誌「かけはし」、准組合員・地域向けには情報誌「ことそら」に加え、スマートフォンの無料通信アプリ「LINE@」での情報提供を7月からスタート。イベントや相談会、キャンペーンなどの情報を伝えるほか、グリーンファームでの特売情報などを配信しています。



「子どもや高齢者にやさしい地域社会を目指して」を合言葉に、大津市などと「高齢者等地域見守り協定」を締結し、「こども110ばんのおうち」ロードコーンを全店舗に設置。また、登下校時の挨拶運動のほか、公用車やバイクに「見守り隊」ステッカーを貼って防犯活動に参加しています。



地域社会の一員としての活動の充実

食農教育（農業体験等）の拡充



管内の小学3、4年生を対象としたアグリスクールのほか、市内小学校で田植え・稲刈りなどの農業体験指導を行っています。

③ 自己改革を支えるJA組織・経営基盤の確立



1支店1協同活動を実施し、地元の組合員や地域住民の皆さまとの交流を図っています。



支店運営委員会や地区別懇談会などを定期的に関き、組合員のご意見やご質問にお答えしています。

その他、当JAが実践している自己改革について詳しくは、パンフレットをご覧ください。



変わるJA 広がる地域のぎずな

監修=広島大学
助教 小林元

Q、JAは地域にとってどんな存在なの？

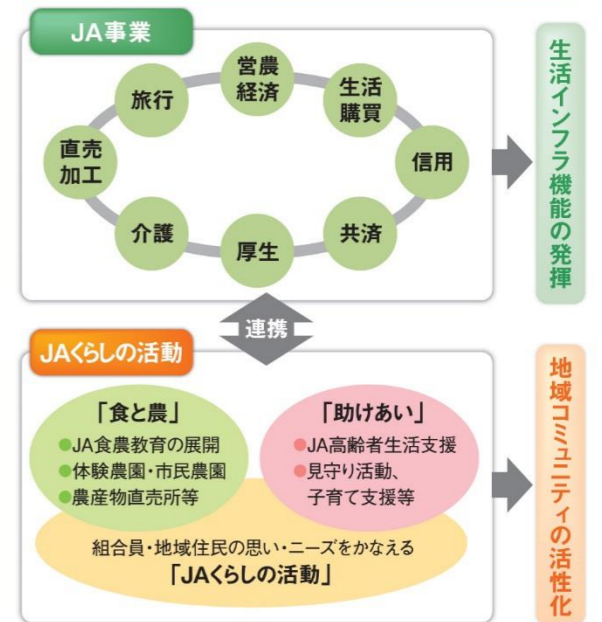
A、地域の食やインフラ機能を支え、地域を元気にします。

協同組合は組合員自らが、くらしや生業（なりわい）の願いやニーズを共有して、事業を運営しています。JAは、営農・経済事業（生産資材の共同購入や生産物の共同販売）を通じて、組合員である農業者の所得の向上や農業生産の拡大を進めています。また、くらしの願いやニーズに対応した信用、共済、生活購買、厚生（医療）、旅行、介護などさまざまな事業を行っています。

そして「JA健康寿命100歳プロジェクト」などを通じて高齢者福祉活動を展開、食農教育や組合員・地域住民の交流活動、直売所の運営などにも取り組んでいます。これらの取り組みは、組合員の願いやニーズを叶えると共に、食と農を通じて地域を豊かに、そして元気にする取り組みです。

JAは、地域に根ざした協同組合として、組合員だけでなく地域住民が必要とするくらしに関わる事業を総合的に提供しています。JAは、地域になくはならない協同組合として、地域を支えるインフラ機能を発揮しているのです。

JAが地域社会に果たす機能・役割



耕そう、大地と地域の未来。

LINE@JAレーク大津 友だち限定

ご来店感謝プレゼント

LINE@でJAレーク大津と友だちになってくれた方が下記の期間に支店・出張所にご来店いただくと、抽選でプレゼントが当たります。

抽選期間

2018年 2019年
11月1日(木)～1月31日(木)

条件

- ① LINE@で当JAを友だち登録している方。ご来店の際に、店頭で新たに登録いただいた方も抽選の対象となります。
- ② 期間中に、最寄りの当JA支店・出張所にご来店いただいた方。LINEに届いた抽選券を窓口で提示してください。

LINEの「友達追加」から ID @ja_lakeootu を検索またはQRコードで登録してね!

📍 イベントやキャンペーンなどうれしい情報をお届けします!

